トヨカツcinema　1月上映作品



©いでは堂

おだやかな革命

2027/1/13 WED　[昼の部]14:00~ [夜の部]18:30~

豊中市立市民公益活動支援センター(庄内コラボセンター1F)

各回定員20名・入場無料・申込不要

About the film

3.11の原発事故を一つのきっかけにして、これまでの成長・拡大を求める経済のあり方とは違う、それぞれの地域での「幸せな経済」が全国で生まれつつある。今、子供達に幸せな未来を残すため、自然と向き合い、人と向き合い、地域と向き合いながら、暮らしの選択を続ける人たちがいます。大きなシステムに依存せず、自らの暮らしを支えるエネルギーを自治しながら、「あたり前」にあったはずの、本当の豊かさを取り戻していく…そんな彼らの、穏やかな、そして力強い挑戦の姿を描きます。【とよなかシネコン2026参加作品】

制作:いでは堂/2017年/日本　配給:いでは堂　時間:100分
監督・編集:渡辺智史　音楽:鈴木治行　撮影:佐藤広一

▶トヨカツcinemaは、多様化する地域課題・社会課題について、映画をきっかけに知り、語り合う場です。来場特典としてマチカネポイントをプレゼントします。お気軽にお越しください。

<といあわせ>

豊中市立市民公益活動支援センター（運営団体:NPO法人とよなかESDネットワーク）
〒561-0833　豊中市庄内幸町4-29-1（庄内コラボセンター1F）
電話:06-6398-9189　FAX:06-6398-9209　メール:toyonaka.npo@jcom.zaq.ne.jp

トヨカツcinema　今後の上映予定



2027/2/10 WED

14:00～, 18:30～

2月上映作品：

バーバラ・リーの闘い ～権力を恐れず真実を～

2001年アメリカ同時多発テロ後、報復のために大統領が議会の承認無しに戦争を始めることができるという武力行使容認決議に、ただ一人反対した下院議員がいた。彼女の名はバーバラ・リー。ブラックパンサー党のボランティアからキャリアをはじめたリーは、連邦議会でまだ数少ないアフリカ系女性議員の一人である。「人種差別と社会差別の問題は、生まれた時から私に深く関わっている」と、人種差別、貧困、教育、ドラッグなど多岐に渡る政策課題を掲げ、人々の声に真摯に耳を傾ける一方、ＨＩＶ･エイズの問題には党派を超えグローバルな対策を進言し、ブッシュ大統領（当時）にも協力を求めるなど、真の問題解決と社会正義の実現を目指し取り組む。本作では「民主主義の根幹には異議を唱える権利がある」と、長年民主主義的な政治姿勢を貫き、後進の育成にも尽力する彼女の姿を追う。

原題:Barbara Lee: Speaking Truth to Power　制作:Ginzberg Productions/2020年/アメリカ　配給:ユナイテッドピープル　時間:83分　監督:アビー・ギンズバーグ　製作総指揮:ジョナサン・ローガン　プロデューサー:ジョスリン・ローズ・ライアンズ　音楽:オセイ・エセド　撮影:アシュレー・ジェイムズ、ヴィンセント・フランコ　編集:ステファニー・メチュラ　キャスト:バーバラ・リー、コリー・ブッカー、アヤンナ・プレスリー、アリス・ウォーカー、アレクサンドリア・オカシオ=コルテス、ダニー・グローヴァー、ジョン・ルイス、カマラ・ハリス



トヨカツは、市民活動・地域活動の拠点です

市民公益活動支援センターでは、豊中市内で活動する市民活動団体の運営支援のほか、ボランティア情報の提供を行っています。ボランティアを募集している団体も、ボランティアをしてみたい市民の皆さんも利用できる施設です。



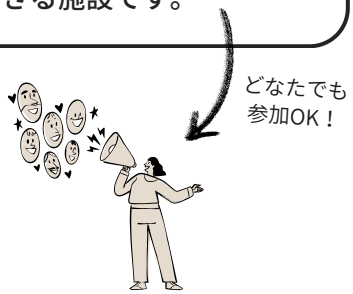
ちゃぶだい集会

日ごろ起こる疑問や、課題解決に向けたヒントなどをみんなで持ち寄り、わいわいと語り合う集いです。隔月開催。



トヨカツcinema

多様化する地域課題・社会課題について、映画をきっかけに知り、語り合う場です。昼の部、夜の部の2回上映。



ボランティア入門講座

これからボランティアを始める方、興味のある方に向けて、ボランティアの心得、活動を続けるコツや事例を紹介します。

トヨカツ主催事業への参加で、マチカネポイントをプレゼント！

とよなかシネコン
Toyonaka Cinema Complex

トヨカツcinemaはとよなかシネコンに参加しています。

イベント情報はSNSでも発信中→

※上映作品は予告なく変更になる場合があります。

TOYONAKA.NPO